

## 平成27年度愛知農業賞表彰式を開催しました

公益財団法人愛知県農業振興基金では、愛知県の農業・農村の振興や発展に尽くした個人や団体を表彰する農業振興功労者表彰事業（表彰名：愛知農業賞）を平成18年度から実施しています。

このたび、平成27年度の受賞者が決定し、平成27年12月14日（月）午後2時からJAあいちビルにおいて表彰式を開催しました。



（受賞者 左から坂本俊光氏、富田孝氏、木曾川町玉葱採種組合）

受賞者のプロフィールは次のとおりです。

担い手育成部門：坂本<sup>さかもと</sup>俊光<sup>としみつ</sup>氏（幸田町）

露地ナス栽培において、優良苗生産・供給を行うとともに、県農業大学校のボランティア研修講師として技術指導を行い、担い手の育成に尽力しました。

また、坂本氏から直接ほ場において技術指導を仰ぐ栽培者は、県内各地で約50名にもものぼり、各地域の農業の発展にも大きく貢献しました。

技術改善部門：富田<sup>とみた</sup>孝<sup>たかし</sup>氏（豊橋市）

モモを中心としたモモ・カキ・クリの大規模複合経営において、開心型樹形での管理や、土壌診断の徹底による施肥により、品質・収量の安

定化、低コスト化を実現するとともに、農薬に頼らない防除対策と低樹高仕立てを実施し、地域への普及を図りました。

また、集出荷場の選果機導入に尽力し、労働時間の低減と市場評価の向上にも貢献しました。

農業・農村振興部門：きそがわちょうたまねぎさいしゆくみあい木曾川町玉葱採種組合（一宮市）

全国的にも珍しいビニル被覆栽培により良質なたまねぎ種子を生産し、45年の長きにわたり全国に供給しています。一時は、高齢化等による解散の危機に直面したものの、地元農業塾の研修生や定年退職後のUターン就農で復活し、現在は極早生品種の全国シェア約3割を占めています。

また、地元和菓子店と連携してたまねぎを生地に練り込んだどら焼きを商品化するなど、地域の農業振興に大きく貢献しました。